

## 本市における 65歳以上人の接種率

65歳以上の人で2回目のワクチンを接種した人の割合は、91.3%（9/12現在）を超えていました。

皆さんのご協力により、ワクチン接種を順調に進めることができました。

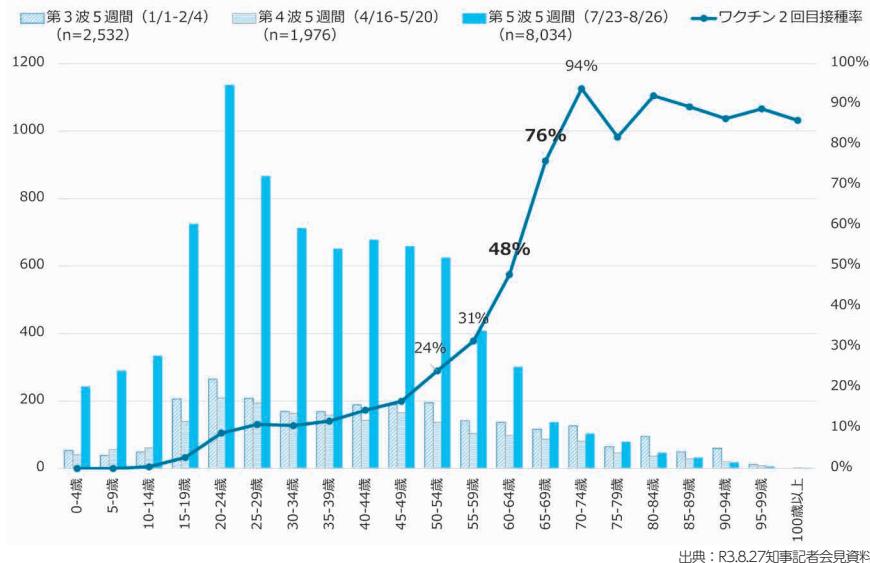
今後は、予約枠を調整していく予定となっていますので、接種が渋んでいない人は、できるだけ早い時期の予約をお願いします。

## ワクチン接種後も感染対策



### 茨城県 5歳刻みの陽性者数とワクチン接種率(8/27現在)

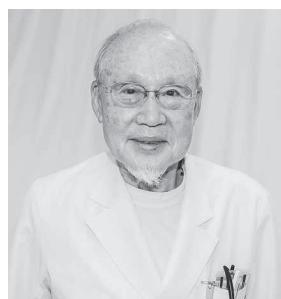
▽ 64歳以下の各区分で、陽性者数は第4波の3～6倍に増加



「5歳刻みの陽性者数とワクチン接種率」を見ても、ワクチンの接種率が高いほど、感染率が低くなることが明らかです。今後、コロナウイルス感染症は、長期戦になることが予想されますが、ワクチン接種は現段階の変異株にも有効性があるという結果が出ています。科学的根拠のない情報には注意しないよ。ただし、接種が済んだからといって感染しないということではありません。ワクチン接種は現段階の変異株にも有効性があるという結果が出ています。科学的根拠のない情報には注意しないよ。ただし、接種が済んだからといって感染しないということではありません。ワクチン接種は現段階の変異株にも有効性があるとい



多賀医師会 会長  
よこくら としあき  
**横倉 稔明 氏**



日本医科大学付属病院の放射線科を退職後、やすらぎの丘温泉病院院長などを歴任。現在は医療法人愛正会理事長。  
平成20年4月には、現職の社団法人茨城県多賀医師会会長の要職に就任し、患者の安全と地域医療の確保に尽力されている。

リスクよりもメリットの方がはるかに大きい。ワクチンを接種して、長期戦に挑む。

一方で、ワクチンを接種したことによる副反応が心配だと思ふ人もいるでしょう。接種後の副反応については、個人差が大きいというのが実際です。熱が出る、頭が痛い、下痢をするなどがあり、多くの人が腕の痛みを訴えます。これらの副反応は、体が頑張って抗体を作るためエネルギーを割いていためだと思います。そこで、接種した方が良いでしょう。

接種の対象となる12歳以上の人は、早めにコロナワクチンを接種した方が良いでしょう。

感染した後の後遺症が、はつきりしているからです。大きな問題となるのは、味覚や嗅覚などの感覚細胞へのダメージがあることです。また、血管に対するダメージとして脳血管障害や血栓症などがあります。